

平塚市地域包括支援センター 平成31年度事業計画書及び評価表

記入例

1 介護予防ケアマネジメント事業等

<p>(1) 前年度の取り組みに対する評価・実績</p> <p>&lt;例&gt; サロン活動が活発な地域であり、包括としては、サロンの支援を通して、地域内の高齢者の状態把握等を行った。園域内10団体のサロン開催時に必要に応じて訪問し活動を充実させるための助言やフレイルの普及啓発をしたほか、サロン参加者の内状態悪化が疑わしい者がいたため、別途対象者宅を訪問し、基本チェックリストを実施のうえ通所型サービスに繋げた例もあった。</p>														
<p>(2) 主な地域課題</p> <p>&lt;例&gt; 前年度より園域内のサロン活動の活性化を図っているが、サロン参加者が固定化しており、サロンに参加しないような、閉じこもり高齢者が一定数いることがわかった。地域と関わりがない方を把握し、外出促進に繋げる必要がある。</p>			<p>(3) 主な地域課題の改善策・解消策</p> <p>&lt;例&gt; ○園域内にどのような閉じこもり高齢者が何人程度いるのか民生委員との連携や訪問などにより把握する。 ○閉じこもり高齢者の状態像を確認し、悪化が見られる者は基本チェックリストを実施するなど総合事業サービスに繋げる。 ○閉じこもり高齢者の外出促進に繋がるような目的・内容を設定し、直営のサロンなどで、定期開催する。</p>			<p>(6) 取り組みに対する全体評価(前期)</p> <p>&lt;例&gt; 閉じこもり高齢者について、民生委員と連携し、訪問などを行った結果、人と一定の方の把握に繋がった。訪問したうち状態悪化が見られる高齢者が2人いたため、基本チェックリストを実施し、通所型サービスに繋げることができた。 後期は、把握した状況の分析を踏まえ、閉じこもり高齢者が定期的に通える場所を創出するため、外出の動機づけや不安解消に取り組み必要がある。</p>			<p>(8) 取り組みに対する全体評価(年間)</p> <p>&lt;例&gt; 前期に閉じこもり高齢者を一定数把握することができた。10月からは、閉じこもり高齢者が定期的に通える場所として、包括直営にてサロンを開催し、定期的な外出動機を創出することができた。このサロンを通して高齢者の状態像の把握も引き続き行う。今後も、今年度の取り組みを継続させつつ、本人が納得し、自ら進んでしてもらおうかたちを引き続き検討していく。</p>					
<p>(4) 今年度の取り組み・重点事項</p>					<p>(5) 取り組み実績(前期)</p>					<p>(7) 取り組み実績(年間)</p>				
方針番号	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期評価	実績・評価理由	市確認結果	年間評価	実績・評価理由	市確認結果				
4	<例> 園域内の通いの場(10団体)へ出張フレイル講座を行う。乗のパンフレットに沿って普及啓発するとともに、フレイル状態が疑わしい方がいた場合は、フレイルチェック測定会への参加を促す。	前期 5団体 後期 5団体	通いの場開催場所	保健師を中心に全職種	C	計画通り、通いの場5団体へ出張フレイル講座を行った。計5回のフレイル講座を実施し、参加者の状態像が改善された。また、フレイルチェック測定会への参加を促すことができた。	計画どおり園域内のサロンへ出張フレイル講座を実施し、参加者の状態像が改善されていることを確認した。	B	計画どおり、通いの場10団体へ出張フレイル講座を行った。年間を通してフレイル状態が疑わしい参加者が5名いたため、フレイルチェック測定会への参加を促すことができた。また、当事業を通して園域内の通いの場には支援者になれるような元気高齢者が多数いることが確認できた。フレイルサポーターとしての活動の場を案内したところ2名が養成に繋がる等、フレイル状態像の把握だけでなく、支援者の発掘をすることができた。	年間を通して、滞りなく、出張フレイル講座の実施ができていないことを確認した。また、この事業を通して、支援者を発掘する等、計画以上の取組ができていないことを確認した。				
2	サロンの開催支援													
4	介護予防、健康長寿等に関する講座、講演会の開催													
3	適正な介護予防ケアマネジメントの実施													
3	通所型サービスの利用者の利用後のフォローについて													
3	総合事業における多様なサービスの利用促進													
4	加齢による機能低下の改善													
4	<例> 前期は、民生委員と連携のうえ、閉じこもりの方の状況把握に努める。 後期は、閉じこもっている理由などの状況を分析し、外出促進に繋がるテーマやターゲットを設定のうえ、サロン・教室等を実施する。	前期 後期(10月以降毎月)	センター内や 公 民館などを検討中	全職種	C	民生委員と連携し、名の閉じこもりの方と繋がった。状況の分析は次のとおり。 後期は、分析結果を踏まえ、をテーマとしたサロンを月1で開催する。	民生委員との連携により、計画どおり閉じこもり高齢者の把握をし、分析に繋がっていることを確認した。	C	次のとおり、計画どおりサロンを開催した。 ・月 日 テーマ 参加者 人 ・月 日 テーマ 参加者 人 ・月 日 テーマ 参加者 人 ・月 日 テーマ 参加者 人 ・月 日 テーマ 参加者 人 ・月 日 テーマ 参加者 人	前期に行った閉じこもり高齢者の分析結果をもとにしたサロンの開催が計画どおりできていることを確認した。				